

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信

令和7年5月7日 第4号

発行;校長 村上謙一

【よみきかせ】

4月23日(水)、令和7年度の「よみきかせ」が始まりました。本校の「よみきかせ」は全て地域の大人(一西校区外を含みます)のボランティアで組織されています。メンバーの数、活動年数、活動の自立性など他校に誇れる取組を続けていただいています。参加をお考えの方はお申し出いただき、様子の参観にお越しく下さい。毎月1回水曜日に活動をいただいています。次回は5月14日(水)8:30~8:40です。



【授業参観・チーム担任説明会・引き渡し訓練】



4月26日(土) 授業参観・チーム担任説明会・引き渡し訓練を開催しました。予想を上回る保護者の皆様にご出席いただきました。誠にありがとうございました。

授業参観では、お子様が学ぶ姿にどんな印象をもたれたでしょうか。現在の学びは自席を離れ、仲間とのかかわりの中からの「気づき」を大切にするものへと変わってきています。

チーム担任説明会では「大変素晴らしい取組だと思います。先生方の思いはどうでしょう。」というご質問もいただき、皆様の関心が高いことを改めて認識いたしました。

引き渡し訓練についても今回が初めての取組となりました。いつ起きてもおかしくないと言われる南海トラフ地震に備えた取組です。ご協力ありがとうございました。



【さわやか集会】

4月25日(金)、もりあげ隊、委員会、学級委員の認証を行いました。「自分がつくる みんなの一西小」のリーダーになる人たちです。去年は「マラソン大会」と「一西小のやくそく」について、子供たちが取り組みましたが、みんなが主体的に参加できたとは言えません。主体的に取り組めると結果に納得ができるのですが、やればできるというものではありません。だからくりかえし、くりかえしやってみて、うまくいかないところをやり直していきます。このねばり強さが大切です。算数などの「見える学力」を支える大切な「見えない学力」とは、こういう力を言います。

子供たち、応援していますよ。今年みんなに合った「マラソン大会」「一西小のやくそく」がつけれるといいですね。「自分がつくる みんなの一西小」です。でも困ったら大人に相談してみてください。まわりの大人はきっとみなさんといっしょに考えてくれますよ。

【ゴールデンウィークが終わりました】

ゴールデンウィークのしめくくりは5月5日の「こどもの日」。この日はこどもが主役の日と考えられがちですが、法律では「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日、とされています。みなさんはゴールデンウィークをどうすごしましたか。

私は修学旅行で訪問する「奈良」をめぐるしてきました。行先は奈良ですが、修学旅行では訪れない「明日香村」を妻と二人で歩いてきました。6年生が訪れる予定の東大寺や法隆寺は、その大きさやすばらしさ、そして歴史に圧倒されます。しかし明日香村の遺跡は、1500年ほど前は確かにそこにあったが今はないものがほとんどです。建物の柱の跡や大きな石組のみが残っているだけのものが多いのです。あつたはずの姿は、自分が想像するしかありません。こんな楽しみ方なので、海外からの旅行者が非常に少なく、静かな風情が残されていました。おかげで一つ一つの遺跡をゆっくり観察することもできました。地元の人とても親切で、地域の宝を残していくために、地域がどのような取組をしているのかを、大変丁寧に話してくれました。エネルギー補給完了！今日からまた、一西の子どもたちと共にがんばります。